

危機から這い上がる 自治体の底力(?)

2020. 02. 21

富山市 建設技術統括監
植野 芳彦

第1ステージが終了し、 われわれは、どこへ向かうのか？

そもそも、我々の目的は何なのか？

創る時代は終わった！
運営管理する時代！マネジメントが必要となる。
1橋1橋の議論ではなく、総合的な管理の時代
先が見えない恐怖！終わりになき戦いが継続する。

「（俺が）やった！やった！」は無意味。綺麗ごとでは解決できない。

これを解決すべき、
新たな、思考のできる人間が必要！
プライドは要らない。経験と判断、決断力、洞察力
そして、新技術などを積極的に導入できる「胆力」

これらを、教育はできるのか？（そういう人がいるのか？）
自ら、自分を鍛え上げるしかない！

最近、よく聞かれること！

①地方自治体の実態が、わからない。見えない。

②技術者教育をどうしていくのか？

③新技術をいかに評価し、導入していくのか？

なぜか、「実際に経験していないから」なんですよ！

つまりこれが、**危機**！ であり**課題**

危機を脱するには？

危機を脱し、課題解決をするために！

ここで、「技術力」とは何か？

科学技術を駆使し課題を解決する能力

では課題に対して

- ① 地方自治体の実態が、わからない。見えない。
“実際の経験” きれいごとでは解決できない！
- ② 技術者教育をどうしていくのか？
本人の意思が重要。挑戦心や覚悟が必要
- ③ 新技術をいかに評価し、導入していくのか？
技術力、洞察力、胆力…



少し前 ドローン 最近、AIへの期待大

開発している技術者には価値がある。

ただ、トレンドに流されている技術者は技術者ではない

これらは、「ツール」である。

**ツールには何をやらせて、
技術者は何が必要なのか？**

**“真” の技術力 → 物事の本質を見極める力
判断、決断、覚悟**

全ては人(キャリア形成)

- 疑問はわかっている人間に聞くのが得策。
わからない人間が集まって議論しても無意味。
決断できなければ無策 (役所の欠点)
- 師匠を持つ ⇔ 世の中には凄い人が居る
・「守・破・離」⇒ “修行”にも段階がある
- 根拠(実力)のない「ライト」は捨てる。邪魔になるだけ!

- 「技術者は育てなければ育たない」
→「技術者は自分の意志で育つ」

- 「何かを学ぶのに、自分で体験する以上に良い方法は無い。」
(アインシュタイン)

- 「技術者」とは険しい道：責任と覚悟
世の中が甘い時代には、自分を厳しく育てる。